

別紙

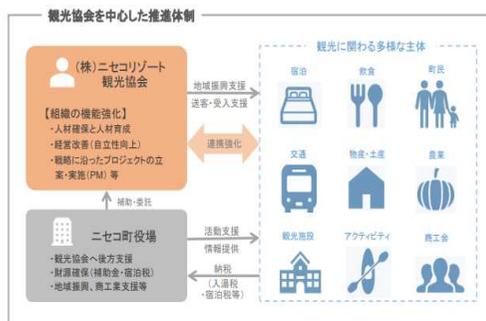
功績概要

取組概要・実績

- 持続可能な観光地づくりを目指して、ニセコ町観光振興ビジョンを策定し、アンケート調査・SDGs研修・シンポジウム等を実施し地域が連携して推進。
- 新たにサステナビリティ・コーディネーターを採用し、国際基準に照らし合わせながら町の取り組みに対するアセスメントの作成や改善の提案・情報発信等を行った。
- 「Green Destinations持続可能な観光地TOP100選」受賞。UNWTOベスト・ツーリズム・ビレッジ認定。（W受賞は日本唯一）

取組詳細

- 「第二次ニセコ町環境モデル都市アクションプラン（2019-2023）」（2019年3月）、「ニセコ町 SDGs 未来都市計画（2021-2023）」（2021年3月）「ニセコ町観光振興ビジョン」（2022年3月）策定
- 「環境モデル都市」「SDGs未来都市」「日本版持続可能な観光ガイドラインを活用したモデル事業」採択
- サステナビリティ・コーディネーターは2名



地域が連携した推進体制図
（ニセコ町観光振興ビジョン）



アクティブラーニングでSDGsを学ぶ
SDGsニセコロゲイン



地元住民及び国内外に向けた
積極的な情報発信



サステナビリティ・コーディネーター
研修会の様子

取組概要・実績

- コロナ禍においても「SDGs教育旅行」を推進し、同地域のホテルの教育旅行宿泊利用者数は2年間で約5倍増。
- 食育・環境・文化・水教育などを学ぶことができる教育旅行のノウハウも活かしながらSDGsを切り口としたワーケーションも推進。

取組詳細

- 「Active Resorts 裏磐梯」における教育旅行宿泊利用者数
2019年度：約2,300名 → 2021年度：約11,400名
- 周辺施設が連携し、多様なプログラムを提供することで、営業や情報収集の相乗効果も生まれ、教育旅行受注が拡大。県の教育旅行総合ガイドブックにも掲載され、リピート増にもつながるなど、売上・集客・リピート拡大の基盤を構築。教育旅行のノウハウを活かし、ワーケーション推進にも取り組んでいる。

1 食育環境プログラム
1年コース
食育と環境教育を結び、食の大切さと環境の大切さを学ぶことができます。

2 環境教育プログラム
2年コース
環境教育を通して、自然の大切さと環境の大切さを学ぶことができます。

3 文化環境プログラム
2年コース
文化環境を通して、地域の歴史と文化の大切さを学ぶことができます。

4 水教育プログラム
2年コース
水環境を通して、水の大切さと環境の大切さを学ぶことができます。

各分野の専門家が提供する多様なSDGs教育プログラム



SDGs教育旅行の参加者の様子



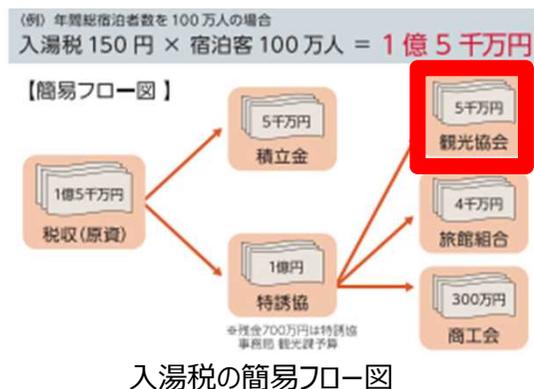
ワーケーションを通じてSDGsを学ぶ参加者

取組概要・実績

- CRMアプリなど積極的にDX導入し、観光客の消費動向データ等から適切なマーケティング・プロモーションを実施し**早期に宿泊者数をコロナ前の水準まで回復させた先進的な重点支援DMO。**
- 入湯税の活用等により、安定して地域が自走するための財源を確保。
- 地域住民との交流を深めるプログラムの造成・販売によって、リピーターを獲得。

取組詳細

- CRMアプリにより、顧客の消費行動の把握や顧客への観光情報のプッシュ型発信が可能に。
(アプリ会員数) 2021年3月:2,671→2022年9月:9,600 (加盟店数) 2021年3月:39→2022年9月:47
- エリア内の全宿泊施設の宿泊客データの収集・分析から、近隣県からの来訪増加等の傾向を捉え、傾向に合わせたプランを造成・販売。
- 2022年6月の宿泊客数が2019年6月の水準に回復。



伝統の火ぶり魚を間近で体験

取組概要・実績

- 民間企業等を巻き込んだ高付加価値なコンテンツ造成・地域独自のCRM導入・財源確保により、**得られた収益を地域に再投資して継続的に自立・自走できる地域づくりを実現**している先進的な重点支援DMO。
- **日本初の城泊**であり、**1組単価110万円以上の「大洲城キャッスルステイ」**を実施。
- LINEと連携した「大洲パスポート」を導入し、地域内回遊を促進。

取組詳細

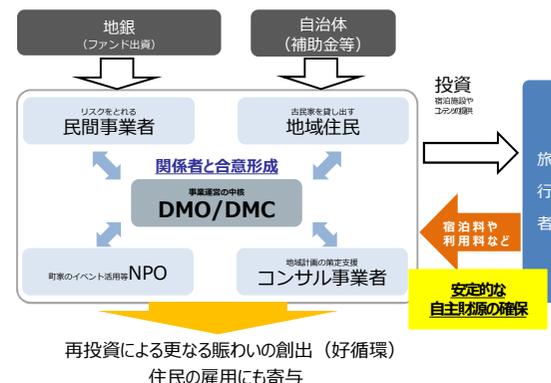
- 2020年から重要文化財「臥龍山荘」等の指定管理の受託、分散型ホテル「NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町」など地域特性を生かした高付加価値化に取り組み、収益の増加によって地域への再投資・新規事業の創出が生まれる好循環の仕組みを構築。（再生した歴史的建造物：22棟、うちNIPPONIA HOTEL:20棟28室）
- 「大洲パスポート」の活用により、協力店舗で地域産品のプレゼント等の特典を提供し、旅ナカ・旅アトでの顧客管理をするとともにリピーター化やふるさと納税を推進。



大洲城キャッスルステイ
(天守閣での城泊 入城体験)



地域独自のCRMである大洲パスポート



地域づくりのイメージ図

取組概要・実績

- コロナ禍においても、国内旅行者向けの新たな滞在型コンテンツ等を開発し前年度比で観光入込客数が4,600人増加した。（令和3年度285,400人）
- 既存の農泊を継続実施するとともに、北海道の大自然を生かしたワーケーションや地産のエゾシカ料理を提供するガストロノミーツーリズムが好評。

取組詳細

- 村にある人材、自然、農村景観による鶴居村ならではの観光を強力に推し進め、地域の活性化と「日本で最も美しい村～鶴居村」づくりを目指して活動。「日本で最も美しい村」連合にも加盟。
- 村名の由来にもなっている特別天然記念物のタンチョウが見られることや、酪農・動物とのふれあい、食、雄大な自然などの既存の地域資源を活かしたコンテンツを開発。
- 観光協会を中心として「鶴居村農泊推進協議会」を設立し、関係者も含めた農泊推進の体制を整えた。



農泊を村の売りとしてHP等で宣言
インバウンド対応も実施



大自然に囲われた鶴居村での
ワーケーションの魅力が伝わるガイドブック



村の様々な飲食店でエゾシカ料理や
料理に合うチーズやワインを提供



取組概要・実績

- 「Trip Base 道の駅プロジェクト」を拡大し、**コロナ禍においても地域経済を活性化。**
- **道の駅を拠点に宿泊特化型ホテルをフェアフィールド・バイ・マリオットのブランド名で7道府県18か所開業し、地域に人が集まる仕組みを構築。雇用は地元を優先し、U・Iターンの受入れにも取り組む。**
- 全国の企業48社とともに地域での新規事業開発を行うなど関係人口増にも寄与。

取組詳細

- 「休憩、通過」点だった道の駅を拠点に観光資源を結び、地域の知られざる魅力を渡り歩く旅を提案。
- 2020年10月から2022年8月までに7道府県18か所でホテル(1,410室)を開業。2025年までに26道府県約3,000室規模への拡大を計画。
- プロジェクトに賛同する全国・地域の企業との事業連携を進め、地域住民と交流しながら地域課題の解決、ものづくり、食、農林水産業などをテーマとした事業創造プログラムの展開を通じ、地方創生に貢献。



Trip Base 道の駅
プロジェクト イメージ



ホテル「フェアフィールド・
バイ・マリオット・三重御浜」



各道の駅、地域企業と連携した
地域素材満載の「朝食ボックス」



岐阜県美濃市
デジタル「よりみちマップ」

アパグループ株式会社、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド

取組概要・実績

- オミクロン株まん延時に水際対応等のため、待機宿泊施設として政府へホテル施設を提供し、国民の安全・安心の確保に大きく貢献。
- アパグループは、政府が確保した客室において同グループが最も多い客室を拠出。（全国約20,000室のうち約10,500室）
- 西武・プリンスホテルワールドワイドは、同グループが保有する都内の客室を最も高い割合で拠出。（都内保有客室約8,800室のうち約4,400室（約50%））

取組詳細

- 2021年11月のオミクロン株まん延以降、入国者数の多い日には待機宿泊施設の7割近くの部屋が使用されていた時期もあり、両グループの協力が無ければ防疫体制は到底維持することが出来なかった。
- 両グループは、2020年以降の新型コロナウイルス感染症まん延にあたり、軽症者の受入等を行う軽症者等宿泊療養施設を積極的に提供するなど、国難を乗り切るために継続的な協力を行った。



受入施設として提供した「アパホテル〈新大阪駅前〉」



Prince

Hotels & Resorts



受入施設として提供した「イーストタワー（品川プリンスホテル）」